

# 脳神経センター長からの一言 vol.17

新病院 3 階に脳神経センターができました

オンリーワンをめざします

2026 年 1 月から福岡中央病院新病院の 3 階に待望の脳神経センターが、オープンしました。脳神経センター（脳神経内科）は、脳神経疾患の専門的な診断と治療を集約的に行います。手足のしびれや痛み、力が入らない、物忘れ、けいれんやふるえ、しゃべりにくい・飲み込みにくい、歩きにくいなどの脳神経を侵す様々な病状の診断と治療を行います。脳神経疾患の患者さんは、身体が不自由で移動が困難な方が多いので、当センター内で、問診・神経診察から、脳波や神経伝導検査、筋電図、誘発電位検査などの臨床神経生理検査、そして外来点滴静注療法などの治療まで行うことができるようになっています。

外来は、月曜から金曜日は終日、土曜日は午前中オープンし、10 名の脳神経内科専門医（日本神経学会認定；常勤 8 名、非常勤 2 名）が診察にあたります。基本は予約制で、前医の紹介状（診療情報提供書）があると、診療がより早く進みます。また、予約なしの患者さんにも対応し、特に脳神経疾患の救急患者さんには月曜から土曜日の午前まで日勤帯で脳神経内科の専門医が当番を決めて対応します。いつでも脳神経内科の専門医が診ますので、安心して受診できます。旧病院では、内科・外科外来といっしょだったので、診察室も狭く、臨床神経生理検査は別の階に移動していただかないといけませんでした。脳神経内科の患者さんは、足が不自由で車椅子の方も少なくないので、新病院の脳神経センターでは、診察スペースも待合スペースも車椅子対応で広くとっていますし、同じ脳神経センター内で臨床神経生理検査まで済ませることができます。

センター内の処置室には 4 床のベッドがあり、當時、外来での点滴静注療法に対応できます。脳神経内科では、最近、外来でのアルツハイマー病の抗体医薬（レケンピやケサンラ）の点滴静注療法や、慢性炎症性脱髓性多発神経炎の免疫グロブリンの点滴静注や皮下注療法などが広く普及し、脳神経内科での外来点滴静注療法は、癌の外来点滴静注療法と並んで最も多くなっています。実はどの病院でも脳神経内科の外来治療スペースの確保に苦労している状況なのです。新病院の脳神経センター内には広い外来処置室が設置され、専属の看護師がいますので、このようなニーズに対応できます。脳神経疾患の最先端の分子標的薬の自己注射などの導入時には、脳神経センター専用の外来処置室で専門の看護師による丁寧

な手技の説明と指導を受けることができますので、とても安心です。また、脳神経センターに隣接して相談室がありますので、各種の相談や認知機能検査などを、プライバシーの保たれた静かなスペースで行うことができます。このような施設は、県内にはないですね。

画像検査に関しては、AI 補助 MRI が 2 台も導入され、病巣の検出が高精度で迅速にできるようになりました。脳・脊髄・末梢神経の画像検査は、従来は体動などによるアーチファクトが入りやすく、小さい病巣が不鮮明だったのですが、AI 補助 MRI では、小さい病巣までびっくりするほどクリアに描出されます。さらに、SPECT 検査といって、脳血流を測定したり、パーキンソン病で障害される脳部位の神経終末や心臓の自律神経を描出したりできる機器も、新病院には導入されましたので、様々な脳疾患の診断精度が大幅に向上します。加えて、PET 検査といって、アルツハイマー病で脳に蓄積する異常蛋白（アミロイドベータ蛋白）の沈着を調べることができる機器も導入されましたので、脳のどの場所にどの位の量のアルツハイマー病の原因物質が溜まっているかが、一目でわかるようになりました。この PET 検査は、脳や脊髄、末梢神経の腫瘍の検出をすることもできますので、脳神経を侵す腫瘍ができていないかを鋭敏に検出することもでき、とても役立ちます。

また、入院病室・病床のアメニティも、非常によくなりました。4 床室も、まるで個室のような感じです。入院して集中的に検査や治療をしたり、定期的にリハビリ入院したりすることが、とても勧めやすくなりました。

このように新病院では、脳神経センターに関わる診療設備・機器・スペースなど、大幅に向上しました。旧病院に脳神経センターが開設され 6 年近くになり、この間に多くの脳神経疾患の患者さんが広域から紹介されるようになりました。新病院の脳神経センターは、他の脳神経内科では診断や治療が困難な患者さんを積極的に受け入れて診断をつけ最先端の治療を導入できる、オンリーワンの脳神経センターとなることを目指します。もっとも患者さんにとっては建物よりは人、診療にあたる医師をはじめとするスタッフが、より大事なので、これまでどおり丁寧な診察と説明を心掛けてまいります。

2026 年 1 月 5 日  
福岡中央病院 脳神経センター長  
吉良潤一